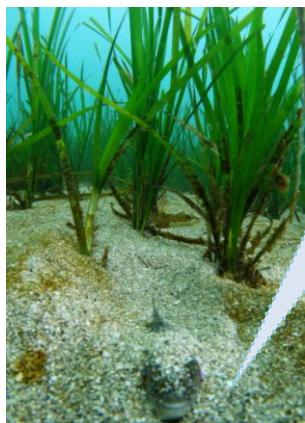


アマモを育てよう

～地球のためにいいことしよう～



←これがアマモだよ

魚が産卵したり、稚魚が成長するのに最適なことから『海のゆりかご』って呼ばれています。又、窒素・リンを吸収し海の浄化をしてくれるんだよ

この人工磯浜にみんなが育てたアマモを植えつけますよ。



みんな気をつけて行きましょう!



寒いけど、頑張ってみんなが育ててくれたアマモを植えてくるね～!

阪南市立西鳥取小学校のみなさんが育てたアマモを、ボランティアダイバーのみなさんが海底に植え付ける作業をしました。

アマモとは海の浄化作用に効果のある海藻です。昔は大阪湾のいたるところに生息していましたが、今では直立護岸が多くほとんど繁殖できません。自然な海岸に戻した場所にアマモを移植し自然を取り戻そうと活動しています。

[日時] 平成20年2月28日(木)

10:00～11:30

[場所] せんなん里海公園 人工磯浜

[主催] NPO 法人 環境教育技術振興会 (愛称: CAN)

[参加者] 西鳥取小学校2年生



「アマモや海のことについて学ぼう!」と大阪コミュニケーションアート専門学校の学生さんのお手伝いでO×ゲームをしました。



冬の海は透明度が高くてとてもキレイ!



みんなで人工磯浜のゴミを拾いましょう!どんなゴミが多いかな～?



こんなにたくさんのゴミが集まりました!

<アマモ移植の流れ>

- 6月 アマモの種子の採種
- 6月～8月 保存
- 8月～12月 冷蔵庫で保存 週一で水替え作業
- 1月～12月 アマモ育苗キット作成または配布
- 12月～2月 家庭・学校で育ててもらい、観察
- 2月 アマモ育苗キットを回収し
- 2月及び3月 ダイバーらの手で海へ移植
- 3月、4月 植えたアマモのモニタリング
- 5月 アマモ開花
- 6月 種採種



みなさん、お疲れ様でした～!

